

団体名

## 正色学区生活安全委員会

団体概要



かつての漁師町として栄えた中川区下之一色町(正色学区)の魅力向上させ、学区居住者が安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として、2019年4月に会を発足させました。

活動名：かつての漁師町・歴史のあるまち「下之一色町」をもっと魅力あるまちに！

1

### 【活動の目的】

委員会では「高齢者の買物難民対策の検討」「地域ボランティアの募集」「地域ねこ対策」など、学区が抱える課題を皆で議論しています。今回は、学区の長い歴史を居住者が再認識し、自分達が住む町を誇りに思い、今後も正色学区に住み続けたいと思える「郷土愛」を育むことを目的とし、活動助成をうけて次の2つの活動を実施しました。

2

### 活動①（「下之一色町案内（昭和3年発行）」の復元、学区全戸配布）

令和2年度、委員会活動の一環として、明治時代以降の下之一色を写す貴重な写真を収集しウェブ上で公開しました。（左図）しかし、インターネット環境のない高齢者は閲覧することができないといった課題を残しました。そこで、紙媒体で学区の歴史を共有することの必要性を感じ、昭和3年に発行された小冊子（当時のまちのガイドブック（右写真））をデータ化、復元し、学区内の全戸に配布することとしました。

この冊子を読むと、今よりももっと不便で貧しかった時代に、私たちの祖先はこのまちに住むことを誇りに思い、力強く生きていたことが伝わってきます。

#### スマートフォンを使って 昔の下之一色を回想しませんか？

正色学区連絡協議会では、令和2年4月、学区の魅力向上等を目的として「生活安全委員会」を立ち上げました。現在、下之一色は、区画整理事業、橋梁架設、河川改修などのインフラ整備、魚市場の閉鎖などにより、これまで皆さんが慣れ親しんだ景色が一変しつつあります。ここで、皆さんと一緒に昔の懐かしい下之一色を回想してみてもどうかと、委員会活動の一環として、以下の取り組みを試験的に実施することとしました。操作は簡単です。是非、お試しください。また、何かお気づきの点がございましたら、各町内の会長さんまでご一報ください。

令和2年12月 正色学区連絡協議会 生活安全委員会

スマートフォンで下記のQRコードを読み取ってください。  
わからない場合は、お子さんやお孫さん、ご近所の方にお聞きください。

下之一色の地図が表示されます。数字を指でゆっくり2回タッチしましょう。例えば、灰色の②をタッチします。

大正6年の浅間社の写真が表示されました！  
何かに気づきませんか？入口にある石の柱、100年ほど昔は向かって左側にあっただんですね。

(昭和3年発行 下之一色町案内)

位置  
本町は名古屋の東部にあり、名古屋と三河湾の間にあり、下之一色町は、下之一色町の中心にあり、この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。

面積人口  
本町は名古屋の東部にあり、名古屋と三河湾の間にあり、下之一色町は、下之一色町の中心にあり、この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。

沿革  
下之一色の町は、明治時代以降、下之一色町の中心にあり、この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。この町は、昭和3年に発行された「下之一色町案内」に掲載されている。

場 役 町



